

立命館経済学 第二十四卷・第二号

論 説

無理をしない商法と経営……………足立政男

——近世における京都の老舗の
家訓・店則から見て——

社会主義社会の過渡期的性格……………小野進

——毛沢東の社会主義政治経済学
への画期的な貢献——

翻 訳

復旦大学経済学部他編著

『社会主義政治経済学』……………小野進

海外留学記

EC経済の最近の若干の問題点……………清水貞俊

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十四卷・第三号

論 説

巨大企業分析と

「生産の集積」概念の展開……………坂本和一

研 究

一九世紀末「大不況期」の

過剰資本と生産の集積……………山本幹夫

——ドイツ石炭・鉄鋼業を事例として——

重化学工業資本の

強蓄積と租税政策……………藤岡純一

翻 訳

バルヴス「世界市場と

農業恐慌」(三)……………鈴木藪敏正雄

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会